

内令員第一四五〇號

昭和十七年内令第百三號中「陸奥、」及「山城」ヲ削ル

同年内令第千五百九十四號中「陸奥、」及「山城」ヲ削ル

同年内令第千七百二十五號中「山城」ヲ削ル

同年内令第千二百九十號中「山城、」ヲ削ル

昭和十九年八月八日

海軍大臣

参照

昭和十七年内令第百三號ハ陸奥等ノ人員臨時減員ノ件ナリ
同年内令第千五百九十四號ハ南西方面艦隊司令部等ノ人員臨時増減ノ件ナリ
同年内令第千七百三十五號ハ南東方面艦隊司令部等ノ人員臨時増減ノ件ナリ
同年内令第千二百九十號ハ第十一航空艦隊司令部等ノ人員臨時増減ノ件ナリ

内令員第一四五一號

海軍定員令中左ノ通改正セラル

昭和十九年八月八日

海軍

海防艦定員表其ノ三中「第二十七號」ノ下ニ「第二十九號」ヲ加フ

(内令揚要別冊四〇二頁参照)



秘

内令員第一四五二號

特修兵教員配置規則中左ノ通改正ス

昭和十九年八月八日

海軍

特修兵配置表其ノ十七ノ二海防艦ノ部中「第二十七號」ノ下ニ「第二十九號」ヲ加フ

(内令提要別冊五〇二頁参照)

内令員第一四五三號

當分ノ開左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十九年八月十日

海軍大臣

第百三海軍病院(ダバオ分院職員ニ充ツベキモノ)

軍醫 中少佐 分院長 兼務一人

軍醫科 佐尉官 部員 三人

藥劑科 佐尉官 部員 一人

衛生中少尉、衛生兵曹長 附 二人

主計 兵曹長 一人

衛生兵曹、衛生兵 四十五人

主計兵曹、主計兵 十七人(掌經理兵二、掌衣糧兵二)

内令員

二四二七

1592

内令員

二四二八

内令員第一四五四號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十九年八月十日

第三十一警備隊

主計中少尉(主)、主計兵曹長

隊附

一人

海軍大臣

内令員第一四五五號

大正十二年内令第百十三號中左ノ通改正ス

昭和十九年八月十日

軍務局ノ項中

海軍

要訂止
外訂止

兵曹長

一人

大尉

二人

兵曹長

一人

教育局ノ項中「昭和十九年九月三十日迄」ヲ「當分ノ間」ニ改ム

参照 前記内令ハ派遣勤務員ヲ置クベキ職及人員ノ件ナリ(内令提要卷一、二三九頁)

1533

秘

内令員第一四五六號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増減ス

昭和十九年八月十日

海軍大臣

東京海軍通信隊

増員

軍醫少佐、軍醫大尉

軍醫長兼分隊長

一人

減員

軍醫大尉

軍醫長

一人

内令員第一四五七號

海軍定員令中左ノ通改正セラル

昭和十九年八月十日

海軍

要訂正
月
訂正済

航空母艦定員表其ノ七中「飛鷹」ヲ削ル

敷設艦定員表其ノ四ヲ削ル

敷設艦定員表其ノ五中「第六十二表」ニ「其ノ五」ヲ「其ノ四」ニ改ム

内令員

二四二九

- 一等驅逐艦定員表其ノ一中「松風」及「水無月」ヲ削ル
- 一等驅逐艦定員表其ノ三中「白露、春雨、」ヲ削ル
- 一等驅逐艦定員表其ノ五中「谷風」ヲ削ル
- 一等驅逐艦定員表其ノ六中「早波、」ヲ削ル
- 一等潜水艦定員表其ノ一中「第百八十三、第百八十四、第百八十五」ヲ削ル
- 一等潜水艦定員表其ノ五中「第三十三」ヲ削ル
- 二等潜水艦定員表其ノ一中「第三十六、」及「第四十二」及「第四十四」ヲ削ル
- 二等潜水艦定員表其ノ二中「第百四、第百五、第百六、第百八、」及「第百十二、」及「第百十四」及「第百十六、第百十七」ヲ削ル
- 海防艦定員表其ノ三中「第二十四號」ヲ削ル
- 第九十一表ノ五運送艦定員表其ノ九 削除

(内令提要別冊三〇二頁参照)

秘

内令員第一四五八號

特修兵教員配置規則中左ノ通改正ス

昭和十九年八月十日

海軍

海軍大臣 官印

特修兵配置表其ノ九中「飛鷹」ヲ削ル

特修兵配置表其ノ十一中津輕ノ項ヲ削ル

同表備考第三號中「又ハ津輕」ヲ削ル

特修兵配置表其ノ十四中「松風」、「水無月」、「白露、春雨」、「谷風」及「早波」ヲ削ル

特修兵配置表其ノ十六中「第百八十三、第百八十四、第百八十五」及「第三十三」ヲ削ル

特修兵配置表其ノ十七中「第三十六」、「第四十二」、「第四十四」、「第百四、第百五、第百六、第百八、

「第百十一」、「第百十四」及「第百十六、第百十七」ヲ削ル

特修兵配置表其ノ十七ノ二海防艦ノ部中「第三十四號」ヲ削ル

特修兵配置表其ノ十九中鹽屋ノ項ヲ削ル

同表備考第二號中「鹽屋」ヲ削ル

(内令提要別冊四八六頁參照)

内令員

二四三一

1596

内令員

二四三二

内令員第一四五九號

特設海軍航路部等ノ定員ノ件申左ノ通改正セラル

昭和十九年八月十日

海軍



第一海軍施設部定員表中「支部長 技師」ニ「ヲ」削リ長「技師」ヲ「兵科、主計科大中佐」ニ、士官、高等文官「二十八人」ヲ「二十六人」ニ改ム

海南、第八、第一、第二、第三海軍施設部定員表中長「技師」ヲ「兵科、主計科大中佐」ニ改メ同表備考第二號ヲ削ル

第四海軍施設部定員表中「支部長（主計大佐）一」ヲ削リ長「技師」ヲ「兵科、主計科大中佐」ニ、士官、高等文官「三十九人」ヲ「三十八人」ニ改ム

（内令提要別冊八二九頁参照）

内令員第一四六〇號

昭和十九年内令員第六百三十二號第一項中「及特設營隊ノ」下ニ「技術科士官定員ニハ技師ヲ、」加フ

昭和十九年八月十日

海軍

参照 昭和十九年内令員第六百三十二號ハ海軍施設本部等ノ技師定員ニハ技術科士官等ヲ以テ充テ得ルノ件ナリ

内令員第一四六一號

昭和十九年内令員第一三三六號中左ノ通改正ス
昭和十九年八月十日

海 軍 大 臣

「少佐、大尉」ヲ「大中尉(水)、(機)、(工)」ニ改ム

参照 前記内令ハ第七六二海軍航空隊ニ人員臨時増設ノ件ナリ

内令員第一四六二號

昭和十九年内令員第二百八十七號中左ノ通改正ス
昭和十九年八月十日

海 軍 大 臣

「兵科佐尉官」ヲ「大中尉(水)」ニ改ム

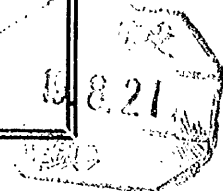
参照 前記内令ハ第一南道艦隊司令部(ミリニ於ケル海上交通保護事務ニ充ツベキモノ)等ニ人員臨時増設ノ件ナリ

○正誤

本年内令員第一三九三號中「掌電信兵 九」ハ「掌電信兵 七」ノ誤

内 令 員

二四三三



1538

内令員第一四六三號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置シ昭和十九年八月一日ヨリ之ヲ適用ス

昭和十九年内令員第一二一九號ハ之ヲ廢止ス

昭和十九年八月十日

海軍大臣

海上護衛總司令部(第五〇六、第五一四、第五二五、第五三四船舶防空隊(假稱)要員ニ充ツベキモノ)

大 中 尉(水) 附 四人

兵 曹 二十八人

機 關 兵 曹 八人

主 計 兵 曹 四人

水 兵 二百九十六人

機 關 兵 十六人

衛 生 兵 四人

主 計 兵 四人

(特修兵適宜)

(横須賀、吳、佐世保、舞鶴鎮守府在籍者各四分ノ一)

秘

内令員第一四六四號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

本令ハ昭和十九年八月二十日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十九年八月十日

海軍大臣

第三十二特別根據地隊(第七防空幹部隊(假稱)ノ要員ニ充ツベキモノ)

少佐、大尉 隊附兼分隊長 一人

中少尉(水) 隊附 二人

中少尉(水)、兵曹長 隊附 一人

兵 曹 八人

水 兵 三十七人

機 關 兵 六人 (特修兵適宜) (佐世保鎮守府在籍者)

衛 生 兵 一人

主 計 兵 二人

内令員第一四六五號

當分ノ間左ノ通各人員ヲ臨時増置ス

本令ハ昭和十九年八月十五日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十九年八月十日

海軍大臣

内令員

二四三五

1600

硫黄島警備隊 追撃砲隊(六門) 四隊ノ要員ニ充ツベキモノ
第五十三警備隊
父島方面特別根據地隊
第三十二特別根據地隊

中少尉(水) 隊附 四人

兵曹 二十四人(掌砲兵 高)

水兵 百七十六人(掌砲兵 普二四)

沖繩方面根據地隊司令部(追撃砲隊(六門) 十一隊ノ要員ニ充ツベキモノ)

中少尉(水) 附 十一人

兵曹 六十六人(掌砲兵 高)

水兵 四百八十四人(掌砲兵 普 六六)

第三十三特別根據地隊(追撃砲(六門) 二隊ノ要員ニ充ツベキモノ)

中少尉(水) 隊附 二人

兵曹 六人(掌砲兵 高)

水兵 八十八人(掌砲兵 普 六)

第九特別根據地隊(追撃砲(六門) 三隊ノ要員ニ充ツベキモノ)

中少尉(水) 隊附 三人

兵曹 十八人(掌砲兵 高)

水兵 百三十二人(掌砲兵 普 一八)

秘

内令員第一四六六號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年内令第二四九七號ハ之ヲ廢止ス

昭和十九年八月十日

海軍大臣

北東方面艦隊司令部（快鳳丸ノ乗員ニ充ツベキモノ）

中 少 尉 附 一人

兵 曹、水 兵 十二人（掌砲兵 四、掌信號兵 四、掌電信兵 二）

主 計 兵 曹 一人（掌衣糧兵）
（舞鶴鎮守府在籍者）

参照 廢止内令ハ第五艦隊司令部ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令員

一四三七

1602

内令員第一四六七號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十六年内令第一三七六號中佐世保海軍通信隊ノ項「十一人」ヲ「三人」ニ改メ「八人」ヲ削ル
特修兵ノ部中「八人」ヲ削ル

昭和十九年八月十日

海軍大臣

佐世保海軍通信隊（額姓、博多各分遣隊ニ充ツベキモノ）

兵 曹、水 兵 四人（掌電信兵）

参照 昭和十六年内令第一三七六號ハ東京海軍通信隊等ノ人員臨時減員ノ件ナリ

1603



内令員第一四六八號
 當分ノ間左ノ通各人員ヲ臨時増置ス
 昭和十九年八月十日

海軍大臣

第六三四海軍航空隊
 第六五三海軍航空隊

少佐、大尉	分隊長	一人	
兵科尉官	隊附	二人	
中少尉(水)、兵曹長	隊附	一人	
中少尉(整)、整備兵曹長	隊附	三人	
中少尉(機)、機關兵曹長	隊附	一人	
衛生中少尉、衛生兵曹長	隊附	一人	
兵曹、水兵		八人	(掌測的兵 一、掌電信兵 三、掌暗號兵 一)
整備兵曹、整備兵		二百八十四人	(掌整備兵 三六)
機關兵曹、機關兵		二十人	(掌航空兵器兵(射爆) 一二)
工作兵曹、工作兵		十九人	(掌工兵(航空板金 一〇、航空密接 二))
衛生兵曹、衛生兵		六人	
主計兵曹、主計兵		二十四人	(掌經理兵 二、掌衣糧兵 一)

内令員

二四三九

内令員

二四四〇

内令員第一四六九號

當分ノ開左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十九年八月十日

海軍大臣

第六五三海軍航空隊

少佐、大尉 分隊長 一人

兵科 尉官 隊附 四人

中少尉(飛)、飛行兵曹長 隊附 四人

兵 曹、水兵 三人(掌電信兵)

飛行兵 曹 十六人(掌飛行兵)

整備兵、曹、整備兵 四十七人(掌整備兵 二四)

掌航空兵器兵 一(射爆寫眞光學)

工作兵 曹、工作兵 三人(掌工兵(航空板金))

主計兵 曹、主計兵 三人

○正誤

本年内令員第一三八二號中「艦」ハ「應」ノ誤

1605

秘

内令員第一四七〇號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置シ昭和十九年八月三日ヨリ之ヲ適用ス
昭和十九年八月十日

海軍大臣

第七六二海軍航空隊

大	尉(水)	分隊長	一人	
兵	科 尉 官	隊附	一人	
中少尉(水)	兵曹長	隊附	一人	
中少尉(工)	工作兵曹長	隊附	一人	
主計中少尉(主)	主計兵曹長	隊附	一人	
兵	曹、水	兵	三十九人	(掌測的兵 二、掌航兵 一、掌信號兵 四四)
整備兵	曹、整備	兵	八十人	(掌電信兵 二、掌哨號兵 四、掌氣象兵 四四)
機關兵	曹、機關	兵	二十一一人	(掌機兵(繼) 二、掌内火兵 一五)
工作兵	曹、工作	兵	十九人	(掌工兵(仕) 上 一、航空板金 一五)
衛生兵	曹、衛生	兵	四人	
主計兵	曹、主計	兵	十六人	(掌經理兵 二、掌衣糧兵 二)

本人員中特務士官以下ハ吳鎮守府在籍者ヲ以テ之ニ充ツ

内令員

二四四

1606

内令員

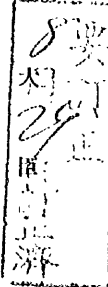
内令員第一四七一號 (後送ス)

内令員第一四七三號

海軍定員令中左ノ通改正セララル

昭和十九年八月十日

海軍



航空母艦定員表其ノ十中「葛城」ノ下ニ「天城」ヲ加ヘ機關兵曹「五十九」ヲ「六十二」ニ、機關兵「二百二」ヲ「二百九」ニ、下士官「三百七十二人」ヲ「三百七十五人」ニ、兵「千三十五人」ヲ「千四十二人」ニ改ム

(内令提要別冊三一七頁参照)

内令員第一四七三號

特修兵教員配置規則中左ノ通改正ス

昭和十九年八月十日

海軍



特修兵配置表其ノ九中「葛城」ノ下ニ「天城」ヲ加ヘ同項中掌機兵補機ノ欄「^三」ヲ「^七」ニ、掌内火兵ノ欄「^二」ヲ「^一」ニ改ム

(内令提要別冊四八六頁参照)

二四四二

1607

秘

内令員第一四七四號

海軍定員令中左ノ通改正セラレ

昭和十九年八月十日

海防艦定員表其ノ三中「第三十二號」ノ下ニ「第三十八號」ヲ加フ

(内令提要別冊四〇二頁参照)

海軍

海軍大臣 官印

内令員第一四七五號

特修兵教員配置規則中左ノ通改正ス

昭和十九年八月十日

特修兵配置表其ノ十七ノ二海防艦ノ部中「第三十二號」ノ下ニ「第三十八號」ヲ加フ

(内令提要別冊五〇二頁参照)

海軍

海軍大臣 官印

内令員第一四七六號

昭和十九年内令員第九百九十四號ハ之ヲ廢止ス

昭和十九年八月十日

海軍大臣

内令員

二四四三

1608

内令員

二四四四

参照 前記内令員ハ舞鶴鎮守府在籍驅逐艦ニハ當分ノ間定員ヲ置カザルノ件ナリ

内令員第一四七七號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十九年八月十日

海軍大臣

第十一海軍航空廠

軍醫科尉官 一人
副部員

衛生兵曹、衛生兵 三人

書記 附 兼務三人(海軍航空本部附ノ兼務)

内令員第一四七八號

昭和十九年九月十五日迄左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十九年八月十日

海軍大臣

横須賀鎮守府(燒津航空基地(假稱)設立準備ニ充ツベキモノ)

兵曹、水兵 二人(掌電信兵)

工作兵曹、工作兵 二人(掌工兵(木具))

主計兵曹、主計兵 三人(掌衣糧兵 一)

秘

内令員第一四七九號 (所要ノ向ニノミ之ヲ配付ス)

内令員第一四八〇號

昭和十七年内令第二四四〇號中左ノ通改正ス

昭和十九年八月十日

海軍大臣

「九人」ヲ「十三人」ニ、「十人」ヲ「十二人」ニ改ム

参照 前記内令ハ大和川通信隊ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令員第一四八一號

昭和十八年内令第一五〇九號中第八十五通信隊ノ部ヲ削ル

昭和十七年内令第九九二號ハ之ヲ廢止ス

昭和十九年八月十日

海軍大臣

参照 昭和十七年内令第九九二號ハ第八十五通信隊ニ人員臨時増置ノ件ナリ
昭和十八年内令第一五〇九號ハ第一航空艦隊司令部等ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令員

二四四五

1610

内令員

二四四六

内令員第一四八二號

大正十二年内令第一一三號中左ノ通改正ス

昭和十九年八月十日

海軍大臣

經理局ノ項中主計科特務士官、主計兵曹長ノ下「三人」ヲ「四人」ニ改ム

参照 前記内令ハ派遣勤務員ヲ隘クベキ廳及人員ノ件ナリ（内令提要卷一、二三九頁）

内令員第一四八三號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十九年内令員第九八四號ハ之ヲ廢止ス

昭和十九年八月十日

海軍大臣

第五艦隊司令部（水測關係指導員ニ充ツベキモノ）

中少尉（水）、兵曹長 附 一人

兵 曹 二人（掌水測兵 高）

参照 廢止内令ハ昭和十九年八月三十一日迄第五艦隊司令部（水測關係指導員ニ充ツベキモノ）ニ人員臨時増置ノ件ナリ

1611

秘

内令員第一四八四號

當分ノ開左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十九年八月十日

海軍大臣

横須賀海軍運輸部名古屋支部

中少尉(水)、(機)

部員(附) 一人

兵曹長、機關兵曹長

兵曹、機關兵曹

二人(特修兵適宜)

内令員第一四八五號

昭和十九年十月五日迄電機講習關係員ニ充ツル爲左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十九年八月十日

海軍大臣

海軍工機學校(分校ニ充ツベキモノ)

中少尉(機)、機關兵曹長

附兼教官

四人(横須賀、吳、佐世保、舞鶴鎮守府在籍者 各一)

機關兵曹

(教員)

十五人(掌電機兵 高)

(横須賀鎮守府在籍者 各一)
(吳、佐世保鎮守府在籍者 各四)
(舞鶴鎮守府在籍者 各二)

内令員

二四四七

内令員第一四八六號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十九年内令員第一二二三號及同年内令員第一三九八號ハ之ヲ廢止ス

昭和十九年八月十日

海軍大臣

硫黄島警備隊

兵 曹、水 兵

四十二人（内十四人ハ大發講習修了者）

機關兵曹、機關兵

二十八人（大發講習修了者）

父島方面特別根據地隊

兵 曹、水 兵

十二人（内四人ハ大發講習修了者）

機關兵曹、機關兵

八人（大發講習修了者）

北東方面艦隊司令部

横須賀鎮守府

兵 曹、水 兵

三十人（内十人ハ大發講習修了者）

機關兵曹、機關兵

二十人（大發講習修了者）

秘

内令員第一四八七號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十九年八月十日

海軍大臣

第二十二戰隊司令部

兵曹、水兵

四十九人（掌電信兵三七）（舞鶴鎮守府在籍者）

内令員第一四八八號

昭和十八年内令第一七五〇號中左ノ通改正ス

昭和十九年八月十日

海軍

別表中備考末尾ニ左ノ如ク加フ

昭和十九年八月十日
海軍大臣
印

1614

海防艦隊編成規則第三十條ノ下ニ「第三百三十號」ヲ加フ

(内令提要別冊四〇二頁参照)

内令員第一四九〇號

特修兵教員配置規則中左ノ通改正ス

昭和十九年八月十二日

海軍

特修兵配置表其ノ十七ノ二海防艦ノ部中「第三十八號」ノ下ニ「第三百三十號」ヲ加フ

(内令提要別冊五〇二頁参照)

大臣
海軍大臣
吉田 賢二

秘

内令員第一四九一號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十九年八月十三日

海軍大臣

第六、警備隊(十二種砲二門二箇砲臺ノ要員ニ充ツベキモノ)

大 中 尉(水) 隊附兼分隊長 二人

兵 曹 十二人(掌砲兵 高 一〇)

水 兵 五十六人(掌砲兵 八)

主 計 兵 二人

内令員第一四九二號

昭和十九年内令員第九一六號ハ之ヲ廢止ス

昭和十九年八月十四日

海軍大臣

参照 前記内令員ハ横須賀鎮守府在籍驅逐艦桐ニハ當分ノ間定員ヲ置カザル件ナリ

内令員

二四五

1616

内令員

二四五二

内令員第一四九三號

第三海軍技手養成所ニハ當分ノ開定員ヲ置カズ
昭和十九年八月十五日

海軍大臣

内令員第一四九四號

海軍定員令中左ノ通改正セラル
昭和十九年八月十五日

海軍

要訂
本
29日
海軍大臣

一等潜水艦定員表其ノ二ノ二中「第三百六十六」ノ下ニ「第三百六十七」ヲ加ヘ「第三百六十一乃至第三百七十二」ノ欄機關兵曹「八」ヲ「九」ニ、機關兵「十三」ヲ「十五」ニ、下士官「二十人」ヲ「二十一」ニ、兵「二十七人」ヲ「二十九人」ニ改ム

(内令提要別冊三八〇頁参照)

1617

秘

内令員第一四九五號

特修兵教員配置規則中左ノ通改正ス

昭和十九年八月十五日

海

軍



特修兵配置表其ノ十六中「第三百六十六」ノ下ニ「第三百六十七」ヲ加ヘ同項中掌内火兵ノ欄「ア」ヲ「ハ」ニ改ム

(内令提案別冊四九七頁参照)

内令員第一四九六號

海軍定員令中左ノ通改正セラル

昭和十九年八月十五日

海

軍



一等輸送艦定員表中「第六號」ノ下ニ「第七號」ヲ加フ

(内令提案別冊四〇二ノ二頁参照)

内令員

二四五三

1618

内令員

二四五四

内令員第一四九七號

特修兵教員配置規則中左ノ通改正ス

昭和十九年八月十五日

海軍

特修兵配置表其ノ十七ノ二、三等輸送艦ノ部中「第六號」ノ下ニ「第七號」ヲ加フ

(内令提要別冊五〇二頁参照)

○正誤

本年内令員第一四二四號中「七月」ハ「八月」ノ誤

要訂正
大月訂正
電訂正
澤

1619

内令員第一四九九號

海軍定員令中左ノ通改正セラレ

昭和十九年八月十五日

軍令部定員表中次長「大中將 一」ヲ「大中將 一」ニ、士官「百二十九人」ヲ「百二十八人」ニ改ム

(内令提要卷一、八頁参照)

内令員第一五〇〇號 (所要ノ向ニノミ之ヲ配付ス)

内令員第一五〇一號

昭和十九年内令員第八九九號中左ノ通改正ス

昭和十九年八月十五日

「臨時七人」ヲ「臨時九人」ニ改ム

参照 前記内令ハ第百三海軍軍需部(糧食現地生産要員ニ充ツベキモノ)ニ人員臨時増置ノ件ナリ

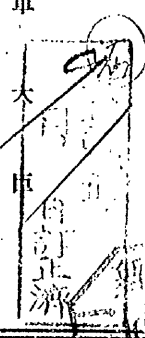
海軍大臣

海軍大臣

二四五五頁
二四五九頁迄

内令員

二四五九



1620

内令員

二四六〇

内令員第一五〇二號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十九年八月十五日

高雄海軍軍需部

主計中少尉(主)、主計兵曹長

附

二人

海軍大臣

1621



内令員第一五〇三號

豫備學生、生徒基礎教育ニ充ツル爲左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十九年内令員第四四號中土浦海軍航空隊、三重海軍航空隊及鹿兒島海軍航空隊ノ部ヲ削ル

昭和十九年八月十五日

海軍大臣 臣

土浦海軍航空隊

中 少 佐 尉 教官 一人

少 佐、大 尉 教官兼分隊長 十七人

中 少 尉 隊附兼教官 二十六人

軍 醫 科 尉 官 隊附 二人

中少尉(水)、兵曹長 隊附兼教官(教員) 十七人

中少尉(整)、整備兵曹長 隊附兼教官(教員) 三人

兵 曹 (教員) 五十二人

整備兵曹 (教員) 七人

掌砲兵 二二 (吳鎮守府在籍者 一〇、舞鶴鎮守府在籍者 一二)
 掌帆兵 一〇 (吳、舞鶴鎮守府在籍者 各五)
 掌信號兵 七 (吳鎮守府在籍者 四、舞鶴鎮守府在籍者 三)
 掌電信兵 一三 (吳鎮守府在籍者 五、舞鶴鎮守府在籍者 八)
 掌整備兵 五
 掌航空兵器兵 (射爆 一、雷爆 一)

内令員

二四六一

内令員

二四六二

兵	曹、水	兵	二十人	(吳、舞鶴鎮守府在籍者 各一〇)
整備兵	曹、整備兵	七十人		
機關兵	曹、機關兵	四十人	(吳鎮守府在籍者 三〇)	
衛生兵	曹、衛生兵	十三人	(吳鎮守府在籍者 九)	
主計兵	曹、主計兵	三十九人	(吳鎮守府在籍者 一〇)	(掌經理兵 二)
三重海軍航空隊				
中	少 佐	教官	一人	
少	佐、大 尉	教官兼分隊長	三人	
大	中 尉(水)	教官兼分隊長	二人	
中	少 尉	隊附兼教官	七人	
軍 醫	科 尉 官	隊 附	一人	
中少尉(水)、兵曹長		隊附兼教官(教員)	五人	
中少尉(整)、整備兵曹長		隊附兼教官(教員)	一人	
兵	曹	(教員)	十四人	(掌砲兵 六、掌帆兵 三)
整備	兵 曹	(教員)	四人	(掌整備兵 三、掌電信兵 三)
				(掌航空兵器 雷爆 二)

<p>兵 曹、水 兵 五人</p> <p>整備兵曹、整備兵 二十人</p> <p>機關兵曹、機關兵 十人</p> <p>衛生兵曹、衛生兵 四人</p> <p>主計兵曹、主計兵 十三人 (掌經理兵 二)</p> <p>本人員中特務士官以下ハ吳鎮守府在籍者ヲ以テ之ニ充ツルモノトス</p>	<p>内令員第一五〇四號</p> <p>信號術(見張、信號)特技兵講習關係員ニ充ツル爲左ノ通人員ヲ臨時増置ス</p> <p>昭和十九年内令員第一〇八一號ハ之ヲ廢止ス</p> <p>昭和十九年八月十五日</p> <p>海 軍 大 臣</p> <p>濱名海兵團</p> <p>大 中 尉(水) 教官兼分隊長 一人</p> <p>中少尉(水)、兵曹長 附兼教官(教員) 二人</p> <p>兵 曹 (教員) 十四人(掌信號兵)</p> <p>水 兵 三人</p>
--	--

内令員

二四六三

内令員

二四六四

安浦海兵團	
大 中 尉(水)	教官兼分隊長 一人
中少尉(水)、兵曹長	附兼教官(教員) 二人
兵 曹	(教員) 十二人(掌信號兵)
水 兵	二人
相浦海兵團	
大 中 尉(水)	教官兼分隊長 一人
中少尉(水)、兵曹長	附兼教官(教員) 二人
兵 曹	(教員) 十人(掌信號兵)
水 兵	二人
舞鶴海兵團	
大 中 尉(水)	教官兼分隊長 兼務一人
中少尉(水)、兵曹長	附兼教官(教員) 一人
兵 曹	(教員) 六人(掌信號兵)
水 兵	一人

秘

内令員第一五〇五號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十九年八月十五日

海軍大臣

横須賀海軍航空隊（濱松教導飛行師團ニ派遣スベキモノ）

中少尉（飛）、飛行兵曹長 隊附兼教官（教員） 四人

飛行兵曹（教員） 八人（掌飛行兵）

内令員第一五〇六號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十九年八月十五日

海軍大臣

第三三二海軍航空隊（輸送機搭乗員ニ充ツベキモノ）

中少尉（飛）、飛行兵曹長 隊附 一人

飛行兵曹 三人（掌飛行兵）

整備兵曹 一人（掌整備兵）

内令員

二四六五

1626

内令員

二四六六

内令員第一五〇七號

昭和十九年内令員第一一五二號中「石川海軍航空隊(假稱)」ヲ「小松海軍航空隊(假稱)」ニ改ム
昭和十九年八月十五日

海軍大臣

参照 前記内令員ハ三澤海軍航空隊(假稱)等ノ定員假定ノ件ナリ

内令員第一五〇八號

昭和十九年内令員第一一四一號ハ之ヲ廢止ス
昭和十九年八月十五日

海軍大臣

参照 前記内令員ハ三重海軍航空隊實験分遣隊(假稱)等ノ定員假定ノ件ナリ

1627

秘

<p>内令員第一五〇九號 當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス 昭和十九年八月十五日</p> <p>第二航空艦隊司令部 第三航空艦隊司令部</p> <p>中少尉(水)、兵曹長 一人 兵 曹、水 兵 六十人(掌電信兵一五〇〇)</p>	<p>内令員第一五一〇號 當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス 昭和十九年八月十五日</p> <p>横須賀海軍航空隊大分遣隊 兵 曹、水 兵 六人(掌信號兵)</p>	<p>内令員第一五一一號 昭和十九年内令員第九一〇號中左ノ通改正ス</p>
---	--	---

内令員

二四六七

1628

内 令 員

昭和十九年八月十五日

別表中

滋賀海軍航空隊	五、〇〇〇人
福岡海軍航空隊小富士分遣隊	五、〇〇〇人
滋賀海軍航空隊西ノ宮分遣隊	一、五〇〇人
三重海軍航空隊高野山分遣隊	一、五〇〇人
松山海軍航空隊宇和島分遣隊	二、〇〇〇人
滋賀海軍航空隊	五、〇〇〇人
鹿兒島海軍航空隊小富士分遣隊	五、〇〇〇人
三重海軍航空隊西ノ宮分遣隊	一、五〇〇人
松山海軍航空隊宇和島分遣隊	二、〇〇〇人
滋賀海軍航空隊寶塚分遣隊	三、〇〇〇人

海 軍 大 臣

二四六八

参照 前記内令ハ海軍航空隊又ハ同分遣隊ニ於テ教育スル練習生ノ數ニ應ジ教官等ヲ増減シ得ルノ件ナリ

ニ改ム

ヲ

秘

内令員第一五二三號

當分ノ間左ノ通各人員ヲ臨時増置ス

昭和十九年八月十五日

海軍大臣

驅逐艦松、桃、竹、桐、梅、楨、椏、檜、楓、桑、榎

水兵 一人

内令員第一五二三號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十九年八月十五日

海軍大臣

南西方面艦隊司令部

少將、大佐 參謀副長 一人

内令員第一五一四號

當分ノ間左ノ通各人員ヲ臨時増置ス

昭和十九年八月十五日

海軍大臣

内令員

二四六九

1630

内令員

二四七〇

硫黄島警備隊
沖繩方面根據地司令部
父島方面特別根據地隊
(火焰放射機ノ要員ニ充ツベキモノ)

兵 曹、水 兵 十人(特修兵適宜)

内令員第一五二五號 (所要ノ向ニノミ之ヲ配付ス)

内令員第一五一六號

昭和十八年内令第一四二六號中左ノ通改正ス

昭和十九年八月十五日

海

軍



別表特設通信隊ノ欄中「第一」ヲ「第一、父島」ニ改メ第六通信隊ノ項、「第三十二」及「第五十一、第八十五」ヲ削リ末尾ニ左ノ如ク加フ

第三十一

二

四八

参照 前記内令ハ暗號關係員配員標準ヲ定ムルノ件ナリ(内令提要卷一、一八五頁)

1631

秘

内令員第一五二七號

左ノ内令ハ之ヲ廢止ス

昭和十九年八月十五日

海軍大臣

昭和十八年内令第七九三號

(伊號第八潜水艦ニ人員臨時増置ノ件)

同年内令第九三四號

同 年内令第一五二三號(海軍潜水學校(陸軍特殊輸送艇要員ノ指導ニ充ツベキモノ)ニ人員臨時増置ノ件)

同 年内令第二四八九號(海軍潜水學校ニ人員臨時増置ノ件)

内令員第一五一八號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十九年内令員第一三三六號中主計少佐、主計大尉分隊長ノ下「二人」ヲ「一人」ニ改ム

昭和十九年八月十五日

海軍大臣

第七六二海軍航空隊

主計 大中尉(主) 分隊長 一人(佐世保鎮守府在籍者)

(參照) 昭和十九年内令員第一三三六號ハ第七六二海軍航空隊ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令員

二四七二

1632

内令員

二四七二

内令員第一五一九號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十九年八月十五日

館山海軍砲術學校

海軍大臣

備考	主計兵	衛生兵	機關兵	水兵	兵曹	中少尉(水)、兵曹長附	中少尉(水)附	大中尉(水)附兼分隊長	少佐、大尉 附兼分隊長	第十二防空幹部隊(假稱) ニ充ツベキモノ	第十三防空幹部隊(假稱) ニ充ツベキモノ	第十四防空幹部隊(假稱) ニ充ツベキモノ
特修兵適宜	二人	一人	六人	三十七人	八人	一人	二人		一人			
特修兵適宜												
特修兵適宜	二人	一人	六人	三十七人	八人	一人	二人	一人				
特修兵適宜	二人	一人	六人	三十七人	八人	一人	二人	一人				

1633

秘

内令員第一五二〇號

船舶防空隊（假稱）訓練期間中左ノ通各人員ヲ臨時増置ス

昭和十九年八月十五日

海軍大臣

横須賀海軍警備隊

呉海軍警備隊

佐世保海軍警備隊

舞鶴海軍警備隊

大 中 尉（水） 隊附兼分隊長 一人

兵 曹 七人

機 關 兵 曹 二人

主 計 兵 曹 一人

水 兵 七十四人

機 關 兵 四人

衛 生 兵 一人

主 計 兵 一人

（特修兵適宜）

内令員

二四七三

1634

秘

内令員第一五二一號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置シ昭和十九年七月十五日ヨリ之ヲ適用ス

昭和十九年八月十五日

海軍大臣

硫黄島警備隊

中少尉(水) 隊附 四人

兵曹長 二人

兵曹 二十三人

機關兵曹 四人

水兵 百七十三人

機關兵 十四人

衛生兵 四人

主計兵 五人

父島方面特別根據地隊

大中尉(水) 隊附兼分隊長 四人

中少尉(水) 隊附 四人

兵曹長 一人

(特修兵適宜)

内令員

二四七五

1635

内令員

兵	曹	四十三人
機	關兵	六人
水	兵	百九十一人
機	關兵	二十人
衛	生兵	七人
主	計兵	十一人
沖繩方面根據地隊司令部		
大	中尉(水)	十八人
中	少尉(水)	十五人
兵	曹長	八人
兵	曹	二百五十三人
機	關兵	二十六人
水	兵	千六百六十人
(特修兵適宜)		
機	關兵	八十人
衛	生兵	三十人
主	計兵	五十三人

二四七六

1636

九州海軍航空隊

大	中	中	兵	兵	機	水	機	衛	主	大島防備隊		大	中	中	兵	兵	機
尉(水)	尉(水)	尉(水)	曹長	曹長	關兵	關兵	關兵	生兵	計兵			尉(水)	尉(水)	尉(水)	曹長	曹長	關兵
隊附兼分隊長	隊附	隊附										隊附兼分隊長	隊附	隊附			
四人	二人	二人	五人	七十一人	十一人	六百五十六人	二十九人	十一人	三十人			二人	三人	一人	三十一人	八人	
(特修兵適宜)																	
(吳鎮守府在籍者)																	

内令員

二四七七

1637

内令員

二四七八

臺灣海軍航空隊		菲島海軍航空隊		横須賀海軍航空隊	
水	機	衛	主	水	機
兵	關	生	計	兵	關
二百三十八人	兵	兵	兵	兵	兵
(特修兵適宜)	二十四人	六人	九人	九人	九人
大 中 尉(水)		中 少 尉(水)		兵 曹 長	
隊附兼分隊長 四人		隊附 一人		兵 曹 六十二人	
				機 關 兵 九人	
				水 兵 五百六十二人	
				機 關 兵 二十三人	
				衛 生 兵 九人	
				主 計 兵 十七人	
(横須賀鎮守府在籍者)					

1638

		館山海軍航空隊	
		第三十一警備隊(吳領守府在籍者ヲ以テ之ニ充ツ)	
兵	曹	長	二人
兵	曹	曹	十人
水	生	兵	百三十六人 (特修兵適宜)
衛	計	兵	二人
主	計	兵	四人
		關東海軍航空隊	
兵	曹	長	四人
兵	曹	曹	二十人
水	生	兵	二百七十二人 (特修兵適宜)
衛	計	兵	四人
主	計	兵	八人
		第十四聯合航空隊司令部	
大	中	尉(水)	附
中	少	尉(水)	附
			二人
			一人

内令員

二四七九

内令員

主	衛	機	水	機	兵	兵
計	生	關		關		曹
兵	兵	兵	兵	兵	曹	長

十一人	六人	十二人	三百五十人	四人	三十七人	三人
-----	----	-----	-------	----	------	----

(特修兵適宜)

(横須賀鎮守府在籍者)

二四八〇

1640